

英語

1. 傾向

来年度入試より、県内 20 校で英語の「学校選択問題」が実施されます。それに伴い、北辰テストの英語の大問⁴の長文読解の一部に「学校選択問題」レベルの問題を導入すると予想されます。

配点は 1 問 3 点～4 点で 100 点満点です。

大問	1	2	3	4	5
9～12 月	リスニング問題 (7 問)	英文の完成 (4 問)	会話文の読解 (5～7 問)	長文の読解 (7～8 問)	英作文 (5 文)
	28 点	12 点	20 点	30 点	10 点

必ず出題される単元はリスニング・短い英文の完成・会話文読解・長文読解・英作文の 5 単元です。単元別にみると、まずリスニング問題は英検 4 級程度の問題です。英文の完成、会話文と長文の読解は本文中の空欄に名詞、動詞、形容詞、前置詞、接続詞をあてはめる問題や指示語 (it, one, that) の内容を問う問題、そして並べ替えと本文の内容を問う問題が必ず出題されます。会話文、長文とも本文の内容を問う問題が、会話文読解で 6 問中 2 問、長文読解では 7 問中 4 問が読解問題です。特に長文の読解では問題の難易度が上がると予想されます。第 4 回 (9 月) 以降必ず出題される文法は「助動詞、比較、不定詞、動名詞、接続詞、現在完了、受動態、5 文型」です。普段から文法を使って身の回りの事を書く練習をしておきましょう。英作文は条件に従って 5 文の英文で書きます。※出題タイトルは「好きなもの・こと、将来の夢、ボランティア活動について、思い出について、行きたい場所 (外国)、友人紹介、自己紹介等」です。学校教科書の巻末資料である「Basic Dialog」のまとめ (短文) を覚えておくとい良いでしょう。

2. 学習の取り組み方と志英館の取り組み

普段から単語は声に出して書いて覚えましょう。長文、会話文は毎日 1 題ずつ音読を心がけましょう。北辰テストの英語は今年度より全体的に記述問題が増え、難易度も上がります。見直しを必ず行いケアレスミスをしたことが大切です。

志英館では、夏期講習会で中学校 3 年間で習った文法・構文の総チェックを行い、合宿ではその最終チェックとして長文・会話文読解を行います (長文・会話文が解けないと北辰テストも入試問題も得点力が上がりません)。今年度 4 月 (第 1 回) より毎回、英単語を書かせる問題が英文の完成・会話文と長文の読解の中で 5 問出題されます。特に名詞が多く、「季節、月、曜日」は必ず出題されます。よって、合宿では毎年、英単語 600 語以上を覚えさせ、9 月以降の北辰テストで高得点をとらせませす。

3. 解答のアドバイス

会話文と長文の読解で全体の約 50% を占めます。必ず毎日 1 題ずつ音読を心がけてください。問題を解く上では設問の前後関係の文が解答を導き出すヒントになっていますが、本文内容を理解することがケアレスミスを防ぎ、満点答案を作るのに最も大切なことです。特に、代名詞 (He, She, It, They, them) などは誰が、又は何をさしているかを考えて読むようにしましょう。文を読む上で最も大切なことは登場人物、場所、時、話題などのイメージーションを鍛えることなので普段から心がけて、長文・会話文を速く、正確に読み (速読読解)、内容を理解する訓練をくり返し実践してください。

4. 高得点の秘訣

高得点を取る秘訣は、全教科に共通することですが [わかる・できる] 問題を必ず 2 回見直すことです。特に英語では会話文と長文を読む前に必ず設問に目を通すことです。特に最後の問 5～問 7 の「次の文が本文の内容に合っているか、又どこに入るか、そして会話の内容に関する質問等」内容を問う設問をチェックした上で本文を読んでいくと理解しやすく、問題を解く順番も大問順ではなく得意な単元から解いていきましょう。必ず過去問題を解き、50 分の時間配分をチェックしましょう。日頃から長文や会話文を読む (速読読解) 訓練をすれば 30 分以内に全問題を解き終えることができ、余裕を持って見直す (チェック) 時間が増えます。

◎ポイント：毎日 10 分間、英文を音読すること。そして 10 分間リスニングを聞くことを必ず実施して下さい。